

「変種変量」の金属加工品

協和工業

頑張る

地元企業

20

アルミ、スチール、ステンレスを材料に使った加工品を手掛ける板金業。大量生産ではなく、顧客の要望に応じたさまざまな形、大きさの「変種変量」の製品を造っている。創業は一九四七年。綿谷初夫社長（左）の父、故・庄一さんが大工だった経験を生かし、設立。六二年、綿谷工

綿谷木工製作所として、設立。六二年、綿谷工



社長プロフィール

綿谷初夫（わたや・はつお）
1952年11月4日宇部市生まれ。神原小、藤山中、宇部高、山口大工学部卒。大学卒業後、協和工業に入り、常務を経て、86年に社長就任。趣味は読書と水泳。

部門はアルミサッシなどに頑張っていた。部門以外にも、と話した。



守永英雄さん

守永英雄さん（左）は入社二十六年。工場長として、現場をま

「顧客の要望を最優先」

めている。

業に改称すると同時に法人化。六四年から現社名になった。当初は業に業態を変えた。用金物は、建物の手すりやひしなどが主な製品。板金製品は産業用の機械のカバーや内部の金属部品などを手掛ける。三部門で、顧客は宇部市、山陽小野田市のており、売上げの約四割を占める。サッシ

綿谷社長は「加工できるだけの顧客の要望に応える姿勢で業務を進めている。経済情勢は厳しいが、こんな時代でもビジネスチャンスはあると思うので、それを逃さず、まじめ

「従業員が仕事の幅を広げるため、自分の担当作業だけでなく、前後の工程も理解できるようにしている」と工場運営で注意している点を説明し「いい製品を造るには、クリーンな環境が大事。現場はもちろん、従業員の心も整えて、高品質な製品を提供していきたい」と語った。（杵永）

高い技術を駆使 モニュメントや彫刻も



敷地内にある工場

会社概要

▽社名	有限会社協和工業
▽創業	1947年8月
▽本社所在地	宇部市厚南妻崎開作
▽代表者	綿谷 初夫
▽資本金	1000万円
▽従業員数	22人
▽売上高	2億5000万円 (2008年6月期)
▽電話番号	41-4848
▽ファクス	41-1175

作業に励む従業員

